南紀生物，54(1)：79-80，2012

和歌山県田辺湾に最近の20年間に漂着・座礁・迷入したクジラ類（哺乳類）

久保田　信*・山口　一夫**・岸田　拓士***

Shin KUBOTA, Kazuo YAMAGUCHI and Takushi KISHIDA: Records of cetaceans in Tanabe Bay, Wakayama Prefecture, Japan in the recent 20 years

世界でクジラ類がおよそ80種知られており，その半数ほどが日本近海で観察できる。紀伊半島沿岸では日本沿岸で見られるほぼ全種が確認されているが，紀伊半島の西海岸に限定すると，1980年から1999年までの過去20年の期間中に既知種の約1/4のクジラ類が漂着・座礁・迷入した（岸田・久保田，2005）。さらに，白浜町沿岸に海域を限定すると，ナガスクジラ1頭が1959年4月25日に網不知に迷入した特例は特筆に値するが（紀伊民報，1959；真鍋，1989），それ以後2012年2月現在に至るまでに，このナガスクジラの他にオガワコマッコウ・マッコウクジラ・ハナゴンドウ・コビレゴンドウ・シャチ・ハンドウイルカ・マイルカ・スジイルカ・イシイルカ・スナメリ・アカボウクジラの計12種の漂着・座礁・迷入が記録されている（紀州新報，1992；岸田・久保田，2002；岸田ほか，2003，2005；久保田，2006；久保田ほか，2006，2007；久保田，2009；紀伊民報，2012；読売新聞，2012など）。この内，三陸以北の寒海に生息するイシイルカは珍しいケースで（田名瀬・池田，1986），また，オガワコマッコウも希少種である（岸田ほか，2004）。

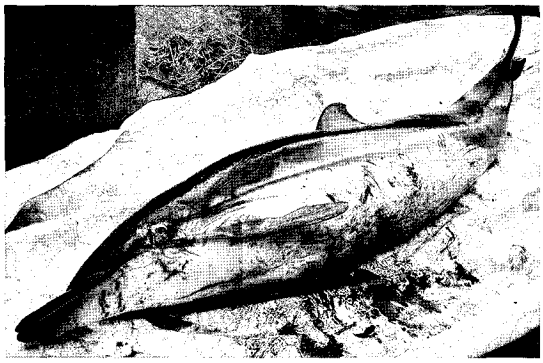

図1　和歌山県田辺市で2012年2月初旬に死亡したスジイルカ

今回は新聞記録として情報がよく整っている1992年4月から2012年2月までの近年20年間に，和歌山県の田辺湾内に漂着・座礁・迷入したクジラ類の記録を下記のように新しい順にまとめた。

スジイルカ　2012年2月1日に2頭が田辺市文里港で遊泳していたが，1頭はまもなく死亡し（図1），他の1頭も2月22日までに死亡（読売新聞，2012；紀伊民報，2012）

スナメリ　2010年4月20日に1頭が田辺市新文里港で遊泳（紀伊民報，2010）

マッコウクジラ　2009年5月1日に成体雄1頭が内之浦で座礁したが，3週間後に生還（久保田，2009）

？ゴンドウクジラ（体長約3 m）2008年9月23日に田辺市文里港で遊泳（紀伊民報，2008）

シワハイルカ　2006年6月10日に1頭が内之浦で遊泳（久保田ほか，2006；紀伊民報，2006）

コマッコウ（体長約2.8 m，体重480kg）2000年5月19日に田辺市文里港に死亡漂着（紀伊民報，2000）

ハナゴンドウ（体長約2.9 m，体重約700 kg）1999年2月11―23日の期間中，白浜町藤島・細野―田辺湾扇ケ浜で遊泳が目撃された後，死亡（紀伊民報，1999）

ハナゴンドウ　1992年7月11日に1頭が京都大学瀬戸臨海実験所臨海北浜へ死亡漂着（田名瀬，1992）

不明種　1992年4月9日に5頭のクジラが白浜町網不知で遊泳（紀州新報，1992）

以上の9記録により，少なくとも7種のクジラ類の漂着・座礁・迷入が，最近の20年間で田辺湾であったが，いずれの出現種も既に過去に記録があるもので（岸田・久保田，2005），新しい種は見られなかった。それらの記録では，田辺市新文里港・新文里港から内之浦にかけての田辺湾奥の東側への例が多い（7例）。平均すると2

*　〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町459　京都大学フィールド科学教育研究センター瀬戸臨海実験所
**　〒646-8660 和歌山県田辺市秋津町100　紀伊民報編集局報道部
***　〒606-8502 京都市左京区北白川追分町　京都大学理学研究科動物学教室

年に約1回の記録となるが，2006年以降，田辺湾に様々な種類のクジラ類が生きたまま迷い込んでくるケースが増えており，5例ある。それ以前はハナゴンドウが主たる記録種であった。なお，京都大学瀬戸臨海実験所の北浜（砂浜部の長さは約400 m）において，前世紀末から毎日のように生物の漂着調査を実施しているが，この区域でのクジラ類の記録はきわめて稀である。1例だけだが，ハナゴンドウ1頭が1992年に死亡漂着した記録がある（田名瀬，1992）。

謝　　辞

原稿を熟読して下さった田名瀬英朋氏と荻野みちる氏に深謝致します。

引 用 文 献

紀伊民報．1959：1959年4月25日付．

————．1999：1999年2月20日付，2月25日付，3月7日付．

————．2000：2000年5月20日付，5月23日付．

————．2006：2006年6月13日付．

————．2008：2008年9月24日付．

————．2010：2010年4月22日付．

————．2012：2012年2月1日付，2月23日付．

岸田拓士・久保田　信．2002：和歌山県白浜町沿岸に漂着したハクジラ類の歯．南紀生物，**44**（2），155–156．

————・森阪匡通・久保田　信・天野雅男．2003：和歌山県白浜町番所崎の南浜にて発見されたハンドウイルカ *Tursiops truncatus*．漂着物学会誌，**1**，25–28．

————・久保田　信・小林亜玲・田名瀬英朋．2004：和歌山県白浜町番所崎先端に漂着したコマッコウ科鯨類について．漂着物学会誌，**2**，33–34．

————・久保田　信．2005：紀伊半島に迷入・漂着する鯨類の特徴—紀伊半島の東海岸と西海岸を比較して—．南紀生物，**47**（1），67–68．

————・田名瀬英朋・久保田　信．2005：和歌山県白浜町椿の海岸に漂着したスジイルカ *Stenella coeruleoalba*．南紀生物，**48**（1），30．

紀州新報，1992：クジラ　白浜の休息　5頭，入江でプカプカ．13720号．

久保田 信．2006：“宝の海から　白浜で出会った生き物たち”．233 pp．紀伊民報，和歌山県．

————・山口一夫・岸田拓士．2006：和歌山県田辺湾に迷入したシワハイルカ（マイルカ科）と推定されるイルカの記録．くろしお，（25），19–20．

————・————・岸田拓士．2007：白浜町へ初めて漂着したアカボウクジラ（アカボウクジラ科）の記録．南紀生物，**49**（1），67–68．

————．2009：和歌山県田辺湾に長期間迷入したマッコウクジラ．漂着物学会誌，**7**，47–49．

真鍋　學．1989：勇魚の海．浜木綿，（2），9–10．

田名瀬英朋．1992：和歌山県白浜町に漂着したハナゴンドウ．瀬戸臨海実験所年報，**6**，27–28．

————・池田和久．1986：白浜町に打ち揚げられたイシイルカ．南紀生物，**28**（1），16．

読売新聞．2012：2012年1月31日付．